

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野市開催基本方針

1 基本方針

スポーツは、体を動かすことそのものを楽しむということに加えて、健康を増進する、交流人口を増やす、地域経済を活性化する等、まちづくりの視点において多面的な効果を有しています。

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会は、スポーツの普及・振興と市勢発展並びに共生社会の実現につながる大会として開催します。

また、開催にあたっては、すべての市民が「する」、「観る」、「つながる」といった大会への参加を通じて、スポーツに関わる機会を増やし、競技会の成功並びに、第五次長野市総合計画後期基本計画に掲げる「スポーツを軸としたまちづくりの推進」の実現を目指します。

更に、本大会を契機として、1998 年の長野冬季オリンピック・パラリンピックをはじめとした多くの全国大会・国際大会の開催、スポーツイベントの開催等を通じて有した都市としての魅力を発信し、長野市のファンを増やす大会を目指します。

2 実施目標

(1) 市民一人ひとりが“スポーツの力”でつながる大会

大会を成功に導くために、年齢、性別、障がいの有無に関係なく、市民一人ひとりが「する」、「観る」、「つながる」といった自分に合ったスポーツスタイルを楽しみながら互いを認め合う市民総参加型の大会とします。

(2) 長野市の魅力を全国に発信し、ファンを増やす大会

大会で本市を訪れるすべての方々を温かいおもてなしの心でお迎えするとともに、本市の豊かな自然や観光、文化など多彩な魅力ある地域資源を発信して、大会後も本市を訪れたいという気持ちを喚起し、地域ブランドの向上につながる大会とします。

(3) スポーツが「人」と「まち」を元気にする大会

市民一人ひとりが大会を契機にスポーツに関わり、楽しみや生きがいが増えることで、生涯スポーツの推進や地域経済の発展、地域愛の醸成につながる、「人」と「まち」の好循環を生み出す大会とします。

(4) 未来の「NAGANO」を創る大会

大会開催を契機に、既存スポーツ施設等の整備を行い、年齢、性別、障がいの有無に関係なく未来を生きるすべての人々が安心して利用できる環境を整え、誰もが生涯を通じて分け隔てなく気軽にスポーツに親しめる「国スポ・全障スポ Legacy」を創設する大会とします。